

スタッフ紹介



精神科医師 (Dr)

就労を継続していくための服薬の調整・定期的な診察による症状のモニタリング



看護師 (Ns)

病気や服薬の事や生活支援全般。精神障碍者の就労支援において看護師は、定期的な面談の機会を利用して精神障碍者の行動と共に振り返り、精神障碍者の希望や強みを活かし、就労への自信を引き出す



作業療法士 (OT)

作業遂行機能の評価と企業での職務や個別の作業分析、企業への就労を目指としたプログラム立案、職場適応指導、作業姿勢別のストレッチやリフレッシュのしかたの提案



精神保健福祉士 (PSW)

就労、職場定着に必要なネットワークの構築と調整。企業に対しての合理的配慮を含む働きやすい職場づくりの提案。障害年金や生活保護の支援。



心理士 (CP)

WAISやロールシャッハ・テストなど様々な心理検査を用いて、特定の凸凹を把握し、合理的配慮に繋げるための提案を作成する。必要に応じて心理カウンセリングも実施



就労支援士

(Employment Specialist)
障害のある人のアセスメント、職場や職務の開拓、仕事の訓練や手助け、事業所や家族、関係機関との調整、フォローアップに至るまでの支援プロセス全体を担当するジョブコーチのこと

アクセス



<バスでお越しの方>

- JR吉祥寺駅南口下車
吉 06 調布駅行き「調布北高校前」下車
徒歩 5 分
- J R三鷹駅南口下車
鷹 56 調布駅北口行き「調布北高校前」下車
徒歩 5 分
- 京王線調布駅北口下車
吉 06 吉祥寺駅行き「調布北高校前」下車
徒歩 5 分
- 鷹 56 三鷹駅行き「調布北高校前」下車
徒歩 5 分



しゅうきちでは就労準備性を養います

- ・就労後に必要な自分の障害特性を把握します
- ・セルフケア・セルフモニタリング・症状自己管理など、働くまでの土台作りをします

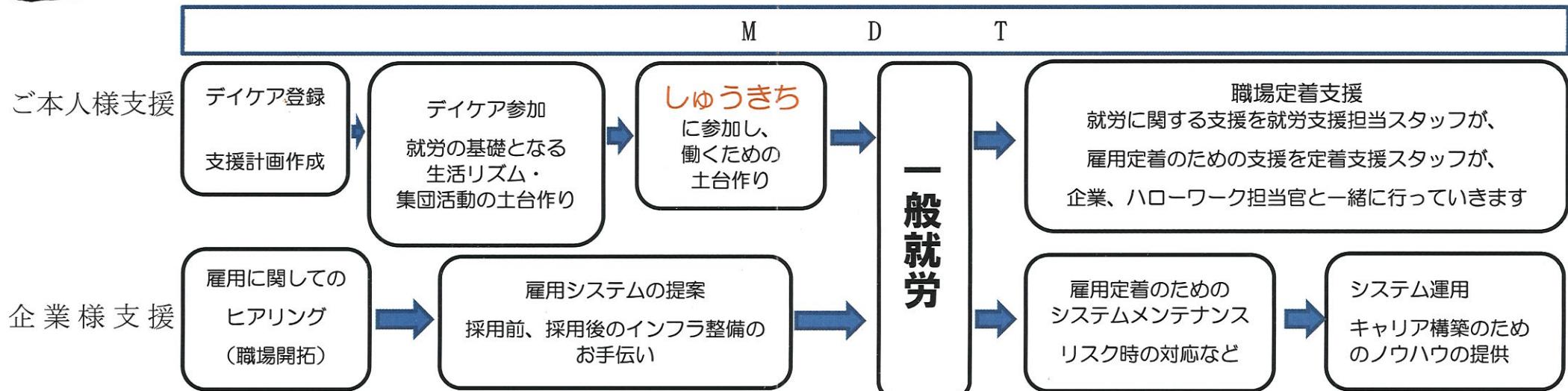


清澤 康伸

平成24年4月より平成30年3月までNCNPにて就労支援プログラムなどを立ち上げ、職場開拓から定着支援までを行う。就労プログラム履修者の就労率は92.7%、1年以上の職場定着率は91.3%。

平成29年4月より東京労働局障害者就労アドバイザーこれまでに300名以上の障害者の働きたいを実現させる

就労支援の流れ



MDTとは：医師・看護師・心理士・作業療法士・精神保健福祉士の5職種からなる専門的他職種チームが定期的に本人のニーズをくみ取り、支援計画の作成、進捗状況の確認をしていく
※当院では、一般就労の定義を、「特例子会社と就労継続支援A型事業所を除く時給が最低賃金以上の企業に雇用されること」と定義しています。

参加対象者

- 半年くらいをめどに就職したいと考えている方
- 一般就労を希望している方
- 週3~4日のプログラムに参加できる方
- プログラムの意図を理解して参加できる方
- 主治医・スタッフと相談し、合意ができている方

しゅうきちの主なプログラムの説明（1ヶ月×3ヶ月）

就労プログラム

- ・就労準備性、ポジティブな社交性を養います。
- ・就労後に必要なストレス対処や病状管理を学びます。

企業研究

- ・パワーポイントを使ったプレゼンを行います。
- ・マーケティングの視点を学びます。

ロジカルシンキング

- ・論理的に物事を考えたり、話ができるように学んでいきます。